

来訪者アンケート結果の概要

1, 調査 総括

【調査概要】

調査員による街頭・施設来訪者アンケート（平日・休日各1日）及び主な施設での留置きアンケートを実施。

回収総数：650 票

【調査結果概要】

- ・岡崎地域に訪れる人の来訪目的は、「美術鑑賞」「観光」「祭事・催しへの参加」「遊び・レクリエーション」の順に多い。
- ・訪問施設数は、「2箇所」と回答した人が40.8%で最も多く、次いで「1箇所」が28.4%となっています。約7割の方が「2箇所以下」の訪問となっている。また、「3箇所以上」の施設を訪れている方は全体の約3割となっている。
- ・訪問施設は、「京都美術館」が39.3%、「平安神宮」が31.3%、「京都市動物園」が27.1%、「みやこめっせ」が26.5%の順に多くなっている。
- ・「岡崎地域」の知名度は、「よく知っている」「聞いたことはある」人が3/4強。
- ・滞在時間は、「1～3時間」が約5割強。6時間未満の滞在が全体の約9割を占める。
- ・1以上の公共交通機関を利用する人は56.4%、徒歩もしくは自転車を利用する人は14.5%、自家用車を利用する人は22.7%となっている。
- ・お金を使用した人の平均額は3,724円。1,000円以上～1,500円未満が最も多く16.2%、5,000円以上～10,000円未満が15.4%と続く。目的別のひとり当たり使用額は、交通費が平均1,662円、飲食代が1,931円、施設入館料が1,427円、お土産代が2,275円。
- ・欲しい施設・サービスは、「団欒や休息などができる休憩所・交流スペース（カフェ、ベンチ等）」「食べることを楽しめる飲食施設・サービス（レストラン等）」「水や緑などの自然が感じられる園地・公園スペース（芝生ひろば、オープンスペース等）」が上位を占める。休憩スペースや飲食施設など、滞留することができる機能を求める声が多い。
- ・求められる取り組みは、「質の高い芸術を楽しむことができる文化施設・催しの誘致・開催」「京都らしい伝統文化や歴史を紹介する施設・催しの誘致・開催」「琵琶湖疏水の水辺、景色を楽しむことができる取り組み（十石舟など）」「歩行者天国の実施や歩行者優先道路の充実による歩いて楽しいまちづくり」の順で多い。芸術・文化をテーマとした取り組みへのニーズが高い。

2, 調査 概要

(1) 調査目的

岡崎地域活性化ビジョン検討の一環として、岡崎地域を訪れる方々の行動特性やニーズ・意向等を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

岡崎地域を実際に訪れた市民及び観光客の方々。

(3) 調査項目

項目	調査内容
属性	・性別, 年齢, 居住地, 日帰・宿泊別, 同行者, 来訪頻度
行動特性	・来訪目的, 訪問施設 ・岡崎地域の滞在時間
効果指標	・利用交通手段 ・岡崎地域での消費金額
意向把握, 施策検討ヒント	・岡崎地域に欲しい施設・サービス ・より魅力的な地域にするための取組 (ソフト含む)
認知度	・岡崎エリアの施設 (認知度)

(4) 調査方法

- 調査方法・・・ 岡崎地域活性化懇談会※の加盟施設の協力により、岡崎地域への来訪者を対象に「調査員による街頭アンケート」及び「各施設での留置きアンケート」を実施。

※岡崎地域活性化懇談会：平成18年4月に岡崎地域の活性化を目的として設立された。立地施設の運営に携わる主体、周辺の寺社、商店街など官民連携による任意組織。

<調査員による街頭アンケート調査>

- ・調査日 10月3日(日), 10月8日(金)の休日, 平日の各1日
- ・来訪者の多い施設を中心に地域内8箇所に調査員を配置し, 聞き取り又は回答依頼によりアンケートを実施。
- ・配置8箇所: 平安神宮, 京都市国際交流会館, 京都会館, 京都市美術館, 京都市動物園, みやこめっせ, 岡崎公園, 琵琶湖疏水記念館付近

<施設での留置きアンケート調査>

- ・調査期間 9月27日(月)～10月15日(金)
- ・上記期間中の留置きアンケート調査が実施可能であった各施設の協力によりアンケート票, 回収箱を設置。
- ・留置き8施設: 細見美術館, 京都国立近代美術館, 京都市国際交流会館, 京都会館, 京都市美術館, 京都市動物園, みやこめっせ, 琵琶湖疎水記念館

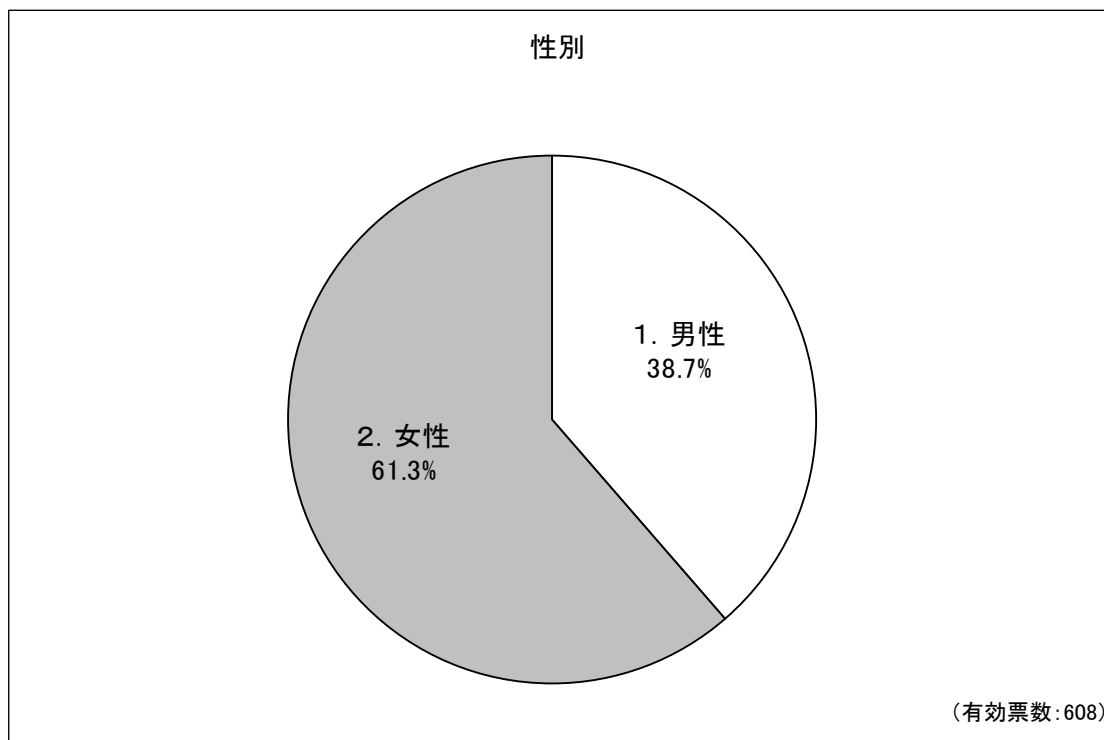
(5) 回収数

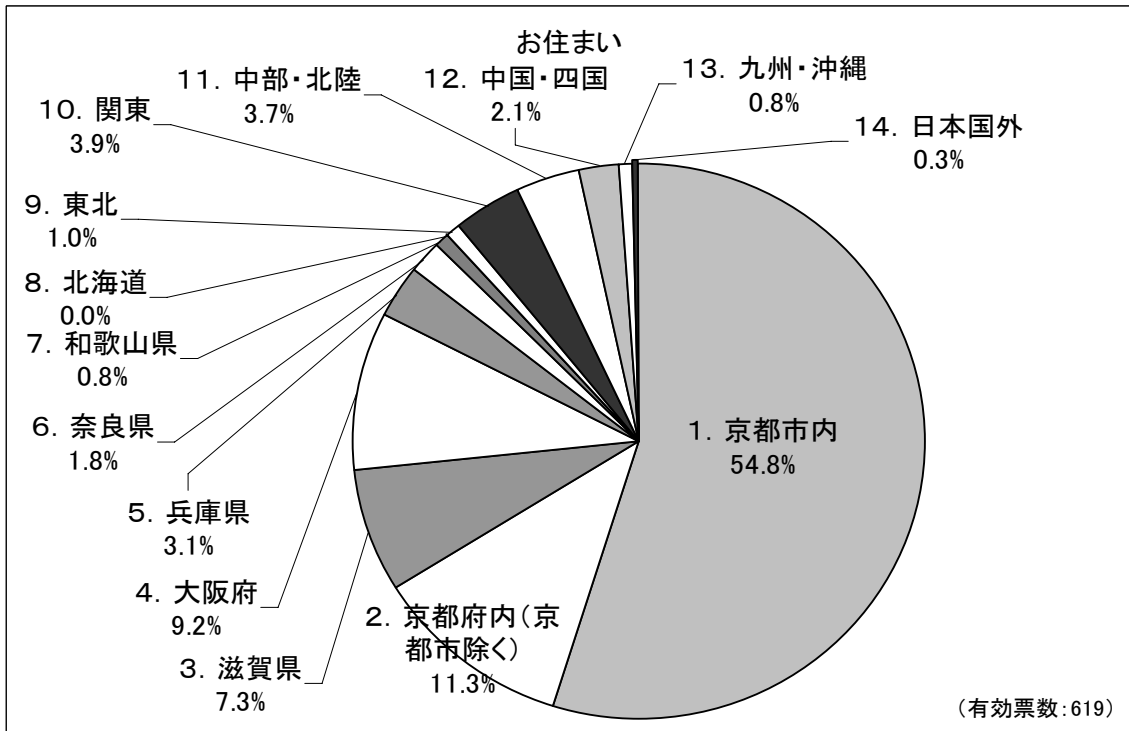
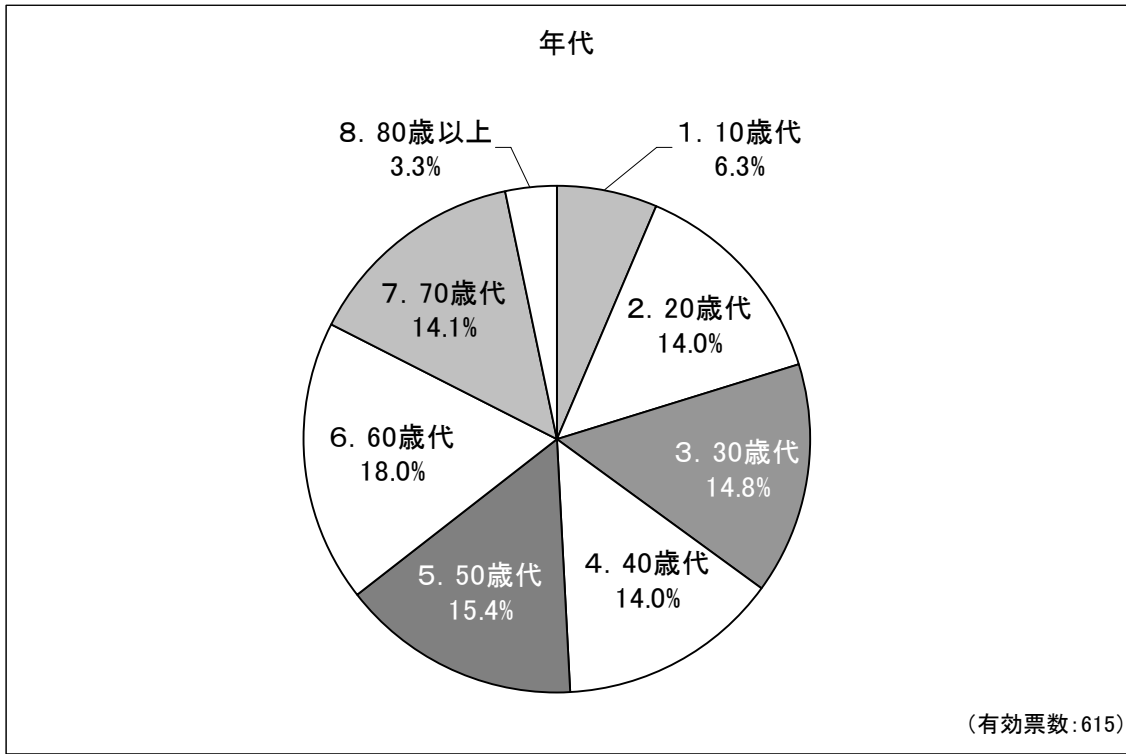
総数 650 票

(街頭アンケート休日 234 票, 街頭アンケート平日 353 票, 留め置きアンケート 63 票)

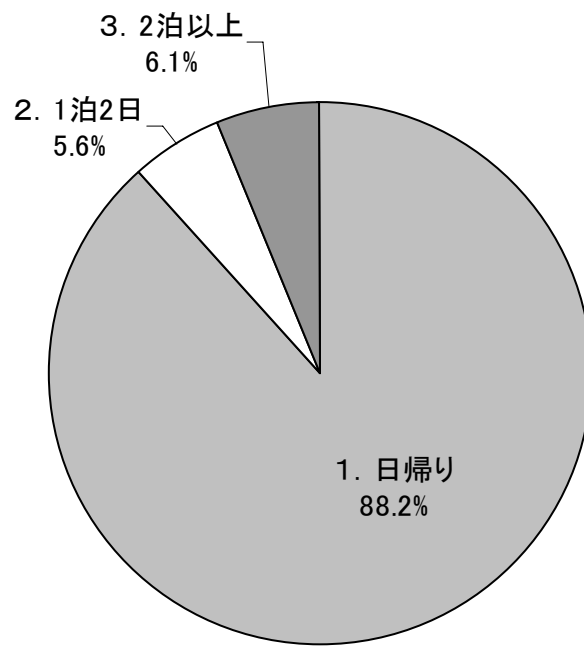
3, 調査結果

【属性】あなたご自身のことについてお伺いします。



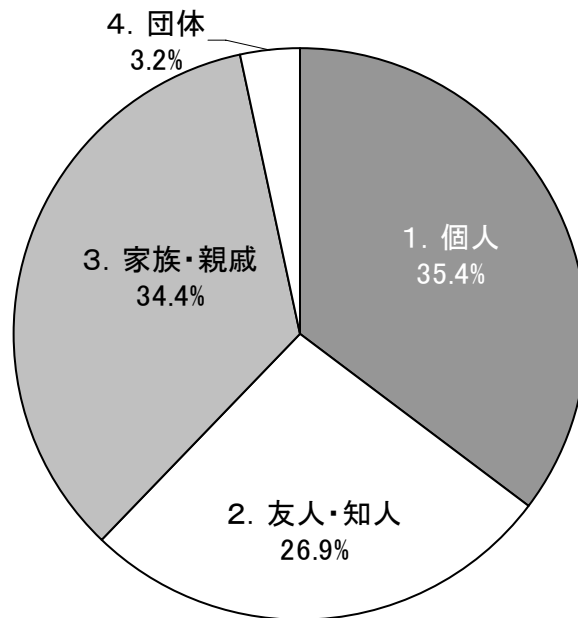


ご予約

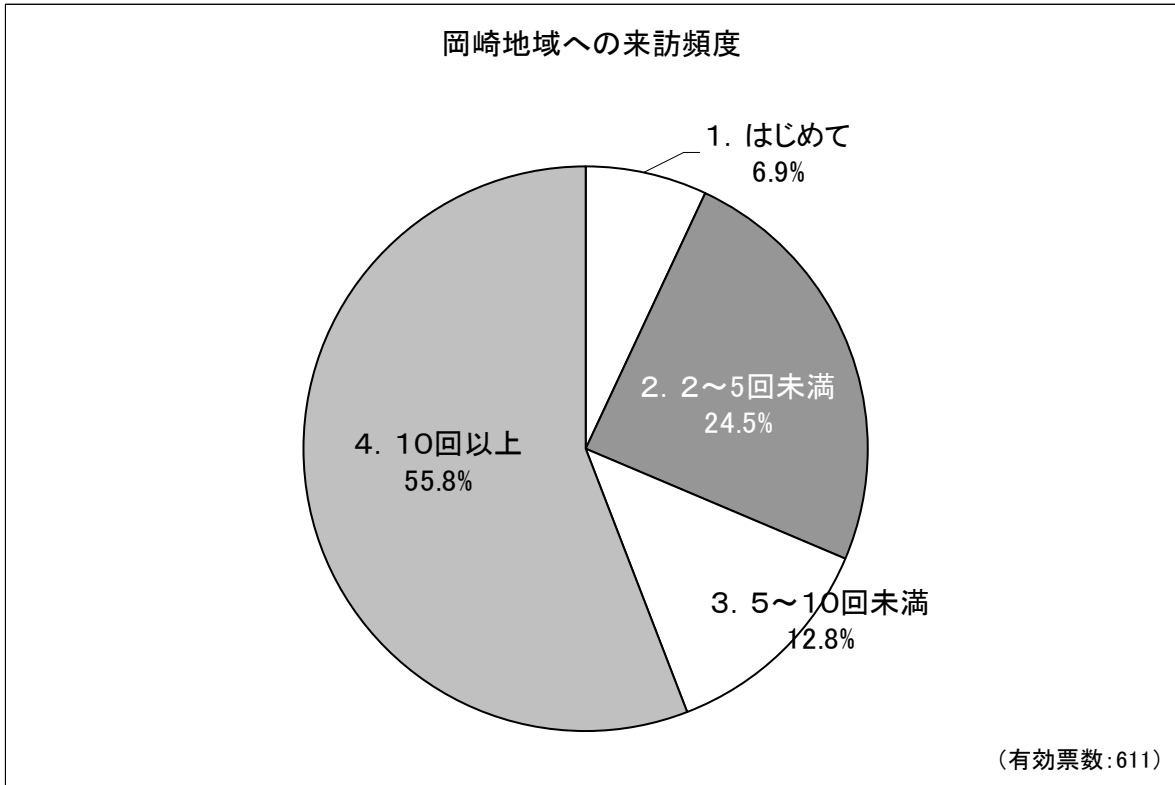


(有効票数:587)

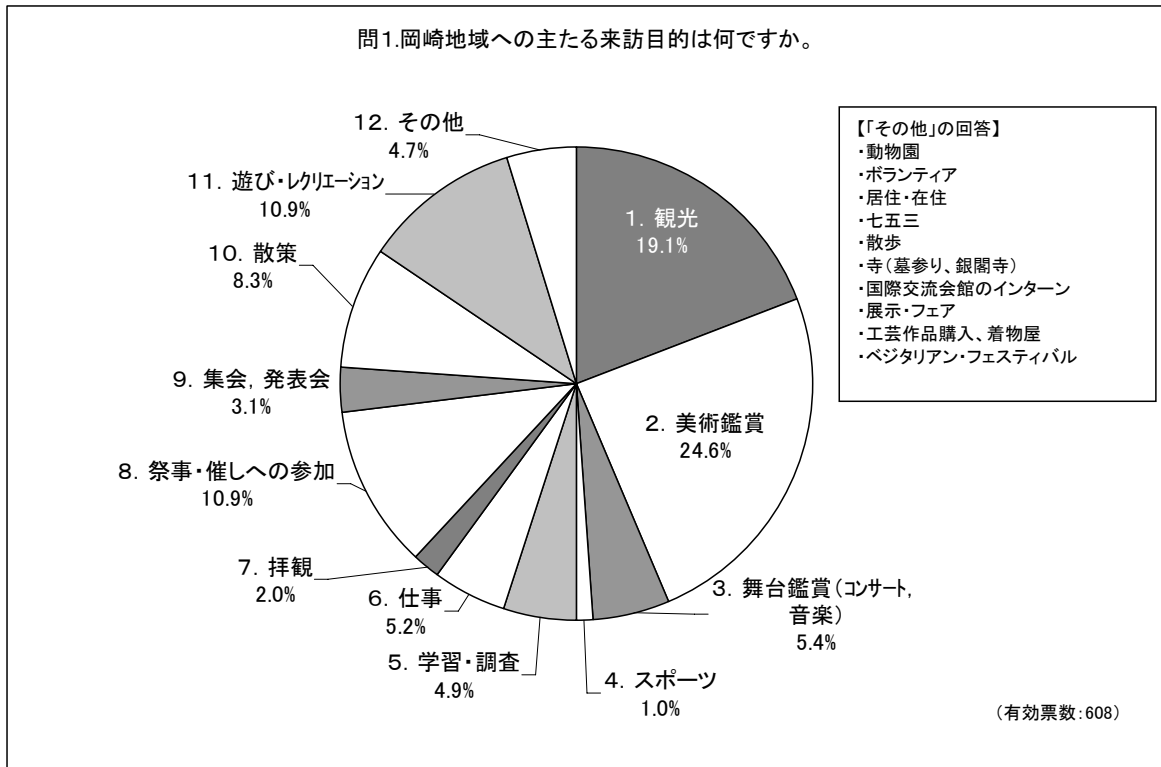
同行者



(有効票数:609)



【問 1】 岡崎地域への主たる来訪目的は何ですか。

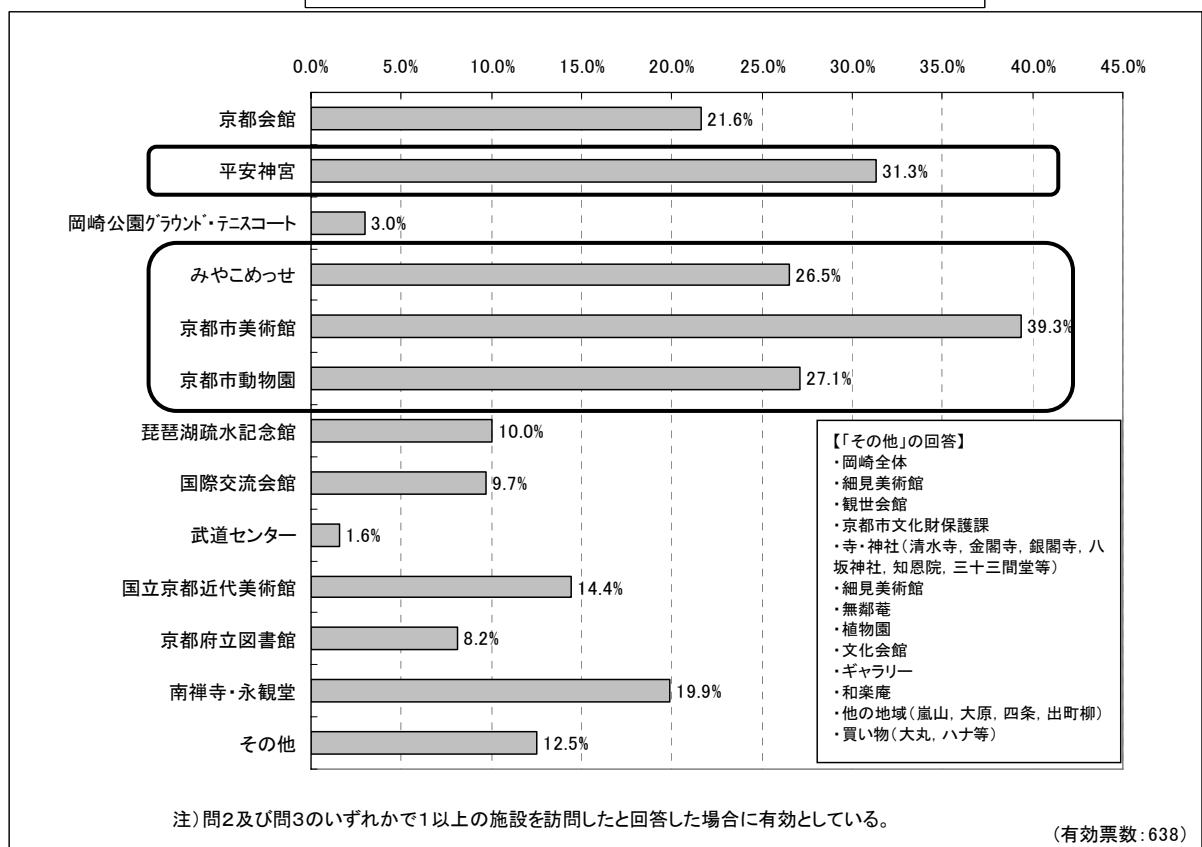
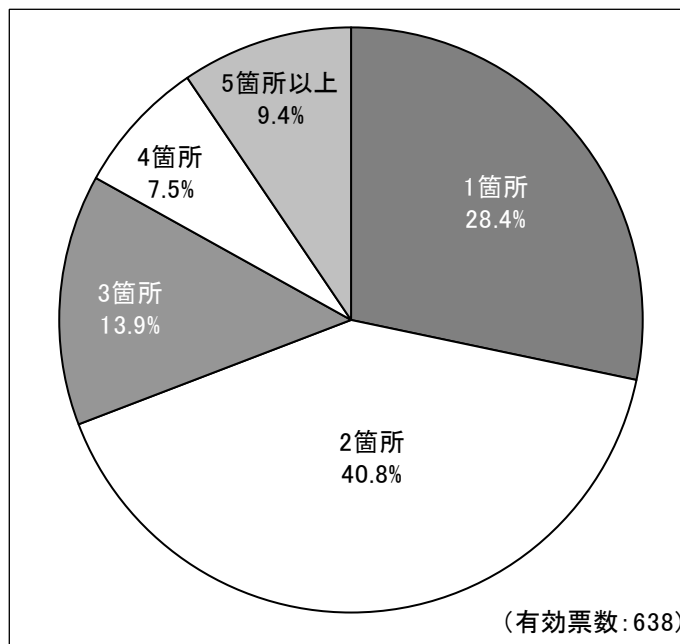


来訪目的は、「美術鑑賞」「観光」「祭事・催しへの参加」「遊び・レクリエーション」の順。

【問2】岡崎地域の主たる訪問地・施設はどちらですか。(調査実施場所)(単純回答)

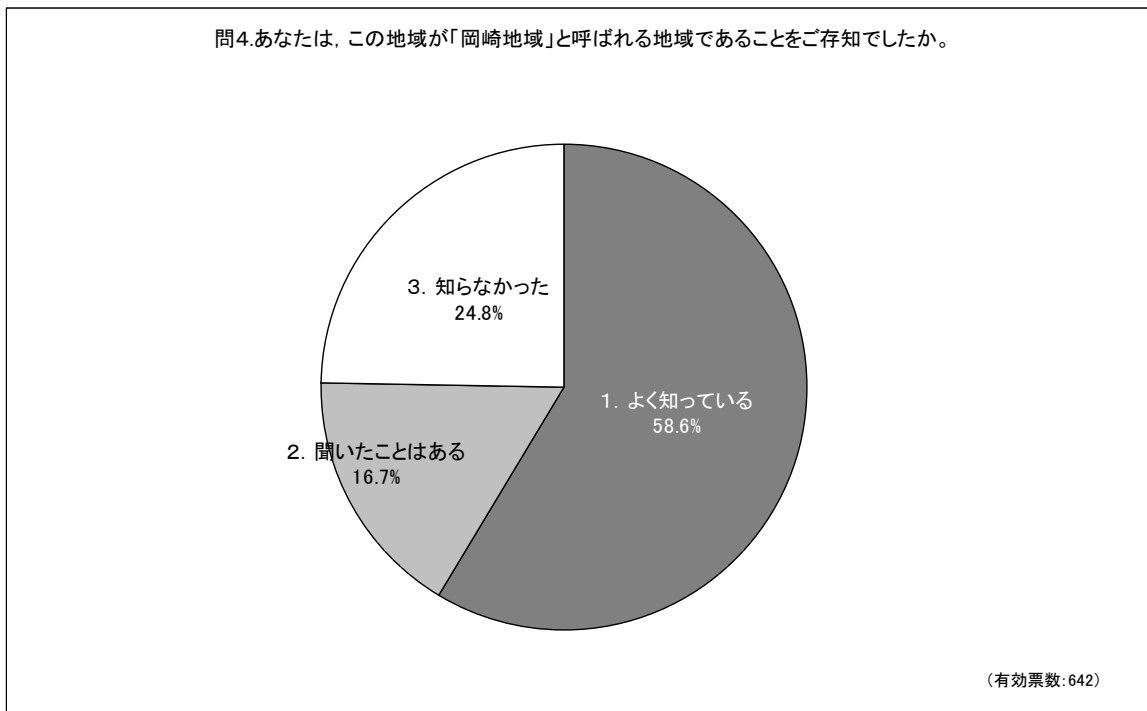
【問3】その他の訪問地・施設はどちらですか。(主たる訪問地・施設以外に訪れた所)(複数回答)

※問2, 3の結果を統合し, 集計した。



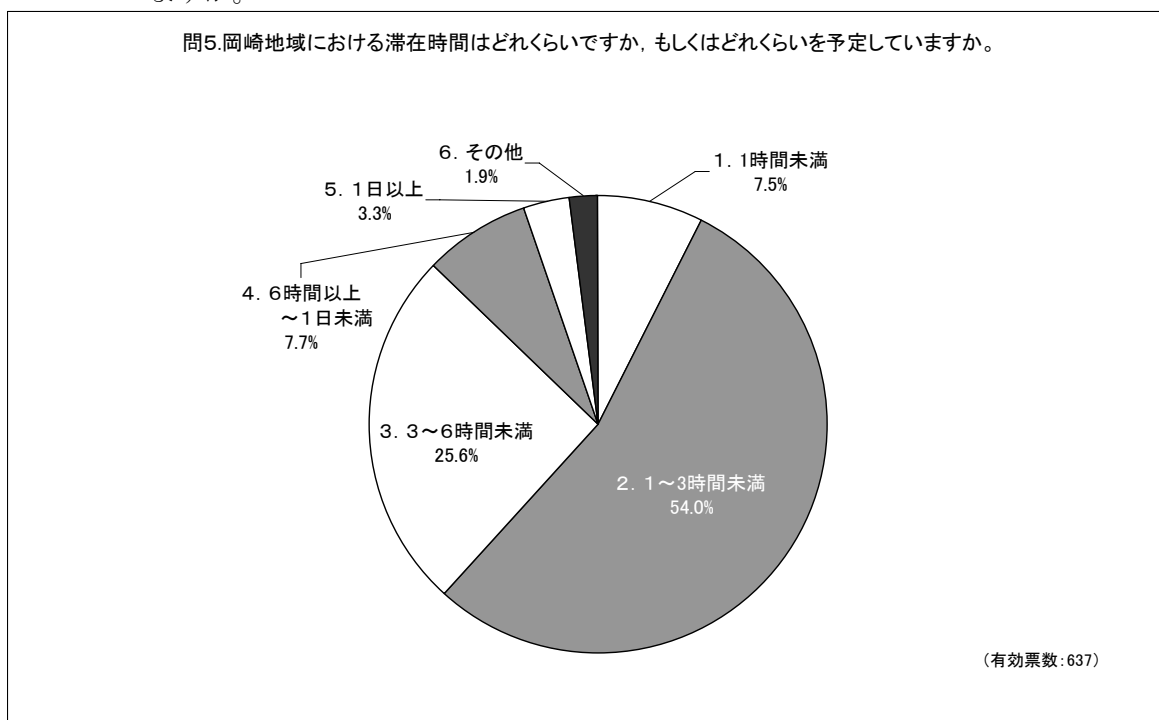
訪問施設数は、「2箇所」と回答した人が40.8%で最も多く、次いで「1箇所」が28.4%となっている。約7割の方が「2箇所以下」に訪問。
訪問施設は、「京都美術館」が39.3%、「平安神宮」が31.3%、「京都市動物園」が27.1%、「みやこめっせ」が26.5%の順に多くなっている。

【問4】あなたは、この地域が「岡崎地域」と呼ばれる地域であることをご存知でしたか。



「岡崎地域」の知名度は、「よく知っている」「聞いたことはある」人が3/4強。

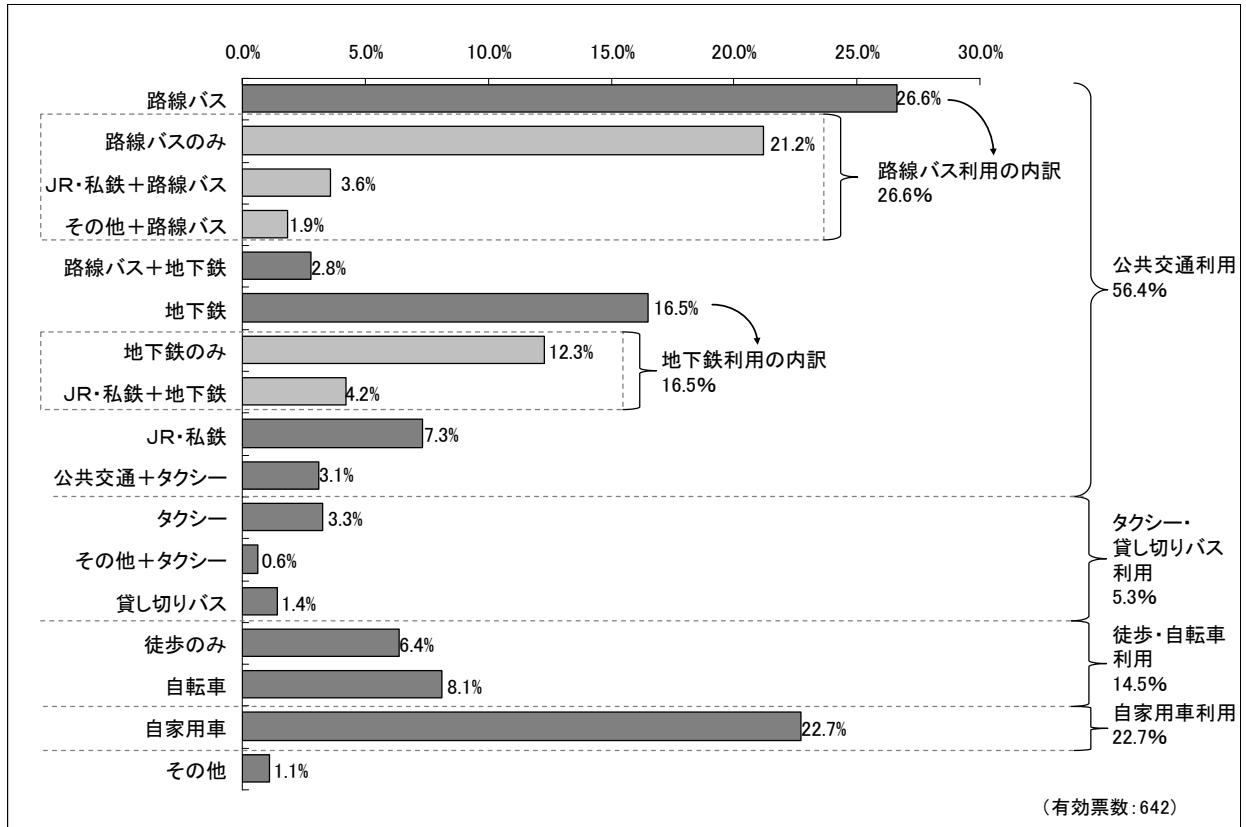
【問5】岡崎地域における滞在時間はどれくらいですか、もしくはどれくらいを予定していますか。



滞在時間は、「1～3時間」が約5割強。6時間未満の滞在が全体の約9割を占める。

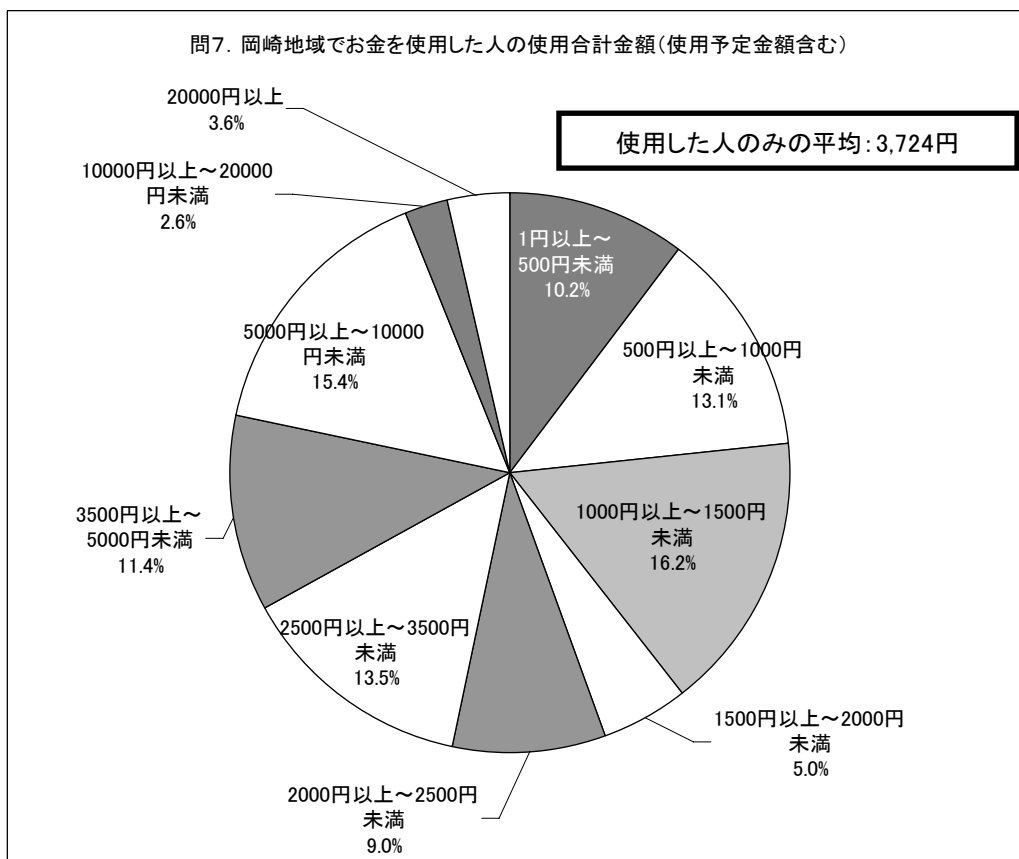
【問6】 岡崎地域へ来られた際に、京都市内の移動として、どのような交通機関をご利用されましたか。

◇利用交通機関の組み合わせ



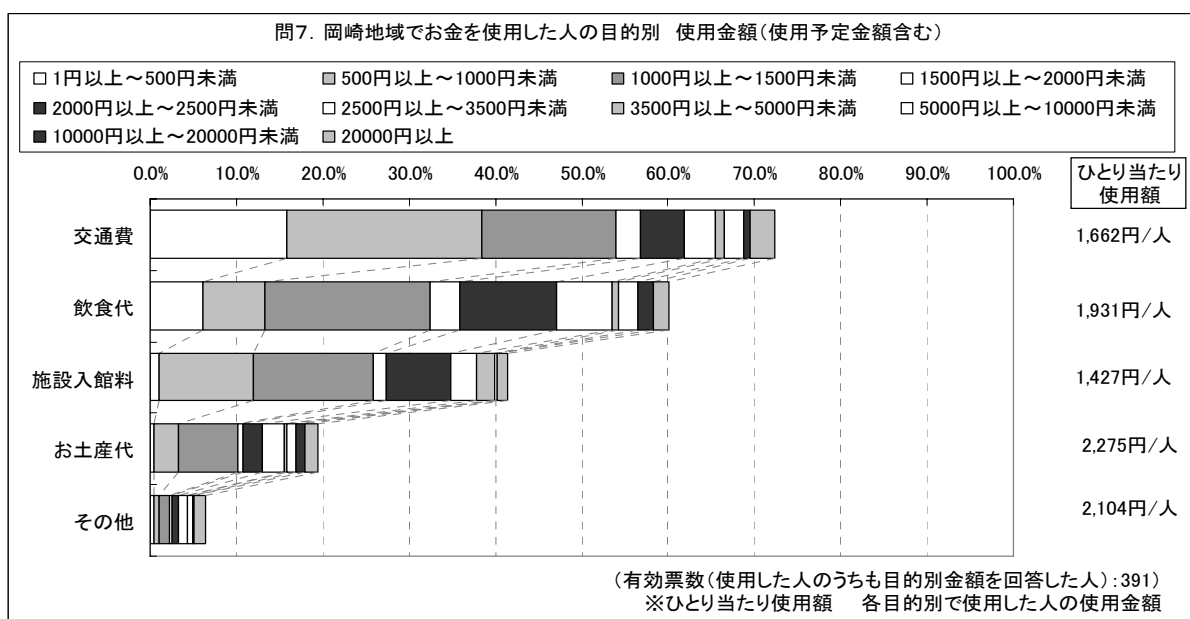
1以上の公共交通機関を利用する人は56.4%、徒歩もしくは自転車を利用する人は14.5%、自家用車を利用する人は22.7%となっている。

【問7】 今回のご旅行で、岡崎地域においてどれくらいのお金をつかわれましたか、もしくは使うことを予定していますか。



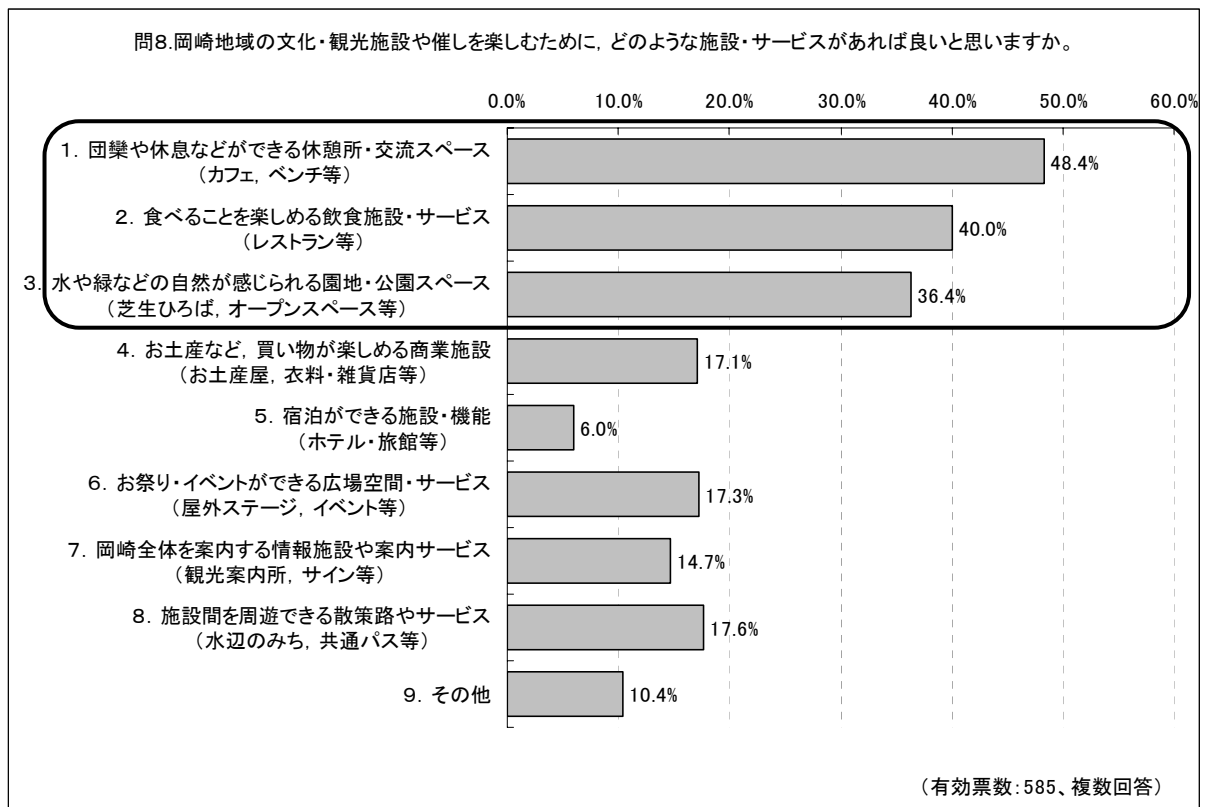
お金を使用した人の平均額は3,724円。1,000円以上～1,500円未満が最も多く16.2%、5,000円以上～10,000円未満が15.4%と続く。

◇目的別の使用額



お金を使った人の目的別ひとりにあたり使用額は、交通費が1,662円、飲食代が1,931円、施設入館料が1,427円、お土産代が2,275円。

【問8】岡崎地域の文化・観光施設や催しを楽しむために、どのような施設・サービスがあれば良いと思いますか。



欲しい施設・サービスは、「1. 団欒や休息などができる休憩所・交流スペース（カフェ, ベンチ等）」「2. 食べることを楽しめる飲食施設・サービス（レストラン等）」「3. 水や緑などの自然が感じられる園地・公園スペース（芝生ひろば, オープンスペース等）」が上位を占める。

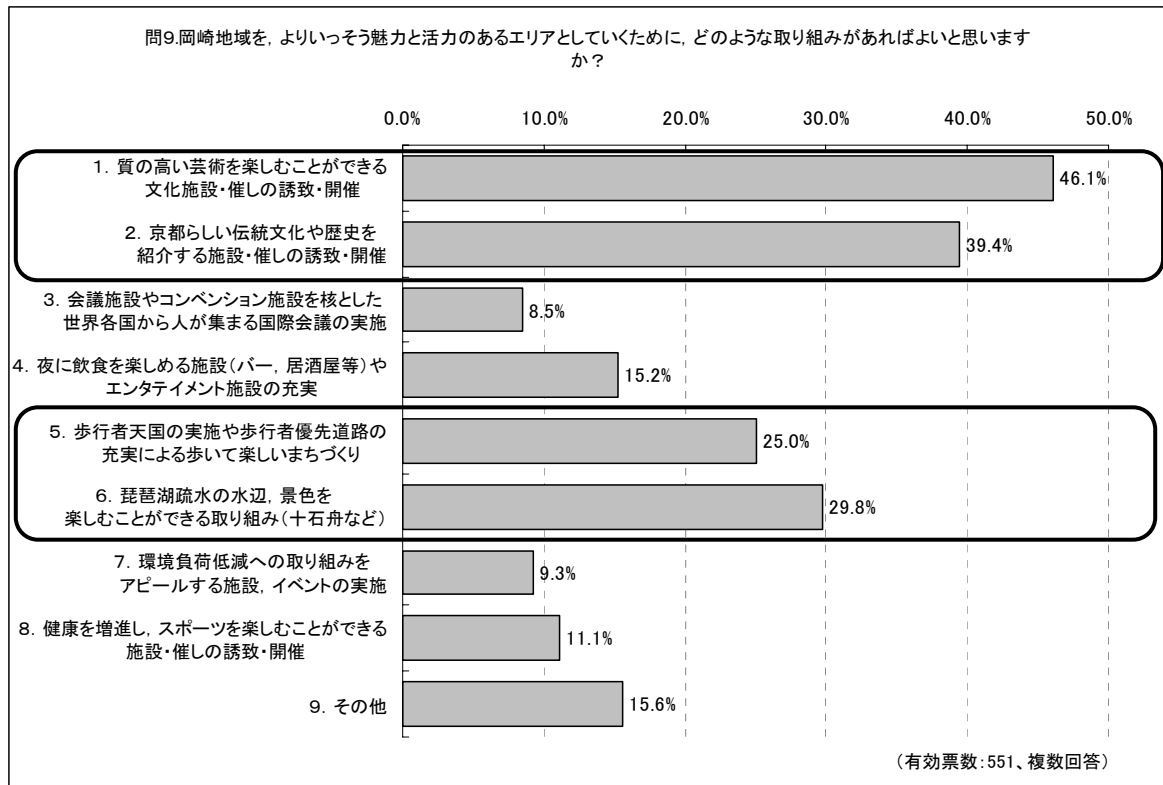
◇自由意見 全 60 件

10 件	ベンチ, 休憩所, お手洗い
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の要らないベンチ等の休憩所 ・きれいなおトイレ ・トイレ (ベビーシート・おむつ)
8 件	飲食施設
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・気楽に入れる店 ・ステキなレストランがほしい ・和食が手頃な値段の場所 (現状が高い)
6 件	駐車場
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車スペースの充実 ・駐車代高すぎる ・屋根つきの駐輪場

3件	案内標識, 案内サービス
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・外国表記の案内サービスの充実 ・車に対する(二条周辺)案内標示が少なすぎる
2件	物販等
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・物産店, テーマ性のある店を集めてイベント行う
2件	バリアフリー
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・スロープ, バリアフリー
2件	子どもの遊び場
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供連れて行きやすいところ
2件	宿泊施設
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・安く泊まれる所
8件	その他機能について
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス降車付近に美術館側へ渡る横断歩道が欲しい ・もっと美術館等があれば良い ・レジャー用品の貸出施設
10件	現状がよい
(意見例)	<p>今の雰囲気のみで充分</p> <p>現状維持してほしい</p> <p>特になし, 必要なし</p>

トイレ, 休憩所, 駐車場, 飲食施設に関する意見が多い。

【問9】岡崎地域を、よりいっそう魅力と活力のあるエリアとしていくために、どのような取り組みがあればよいと思いますか？



求められる取り組みは、「1. 質の高い芸術を楽しむことができる文化施設・催しの誘致・開催」「2. 京都らしい伝統文化や歴史を紹介する施設・催しの誘致・開催」「6. 琵琶湖疏水の水辺、景色を楽しむことができる取り組み(十石舟など)」「5. 歩行者天国の実施や歩行者優先道路の充実による歩いて楽しいまちづくり」の順が多い。

◇自由意見一覧 全 86 件

10 件	文化、芸術等のイベントを
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芸術イベント等を屋外で行う ・ 新しい京都を象徴するイベントをしてほしい ・ 夏には花火等があると良いと思う ・ 着物を着て観光する人がここ最近多いがそういう人達をもっとこの辺に来られるようにしたら良いのでは。着物ショーとか ・ フリーマーケット
8 件	飲食施設
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事やカフェが少ない ・ 気軽に飲食できる所。当地区は高級店が多い ・ 外国の質のいいお土産の売店やリゾートカフェかリゾートレストランなどがあること

8件	緑, 自然環境
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・景色を楽しみながら散策が好きです。季節を感じられる環境を楽しみたいと思っています ・昔なつかしい, 自然的な美を感じられる場。今の子供たちにそういう場を与えられるような施設などを作ってほしい ・紅葉観光・桜(春)
6件	散策, 歩くまちづくり
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・散策には良い雰囲気です。日本の自慢できる所です ・車のない道路(歩行者天国) ・歩道がななめになっている所は足の悪い方や車椅子, ベビーカー等をご利用の方にとっては負担
5件	駐車場, 交通の充実
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車料金安くしてほしい。バスの停留所が不便 ・この辺りは不便であり, 広い駐車場または公共の乗り物で便利に利用しやすい工夫
4件	トイレ, 休憩所等
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレが古い ・気楽に休憩できる施設ができてほしい
4件	子どものための取り組みを
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちを連れて行くイベントをやってほしい
3件	伝統を大事に
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・京都の良さを壊さず, 古い物を大切にしてほしい。その上で芸術や伝統文化を発展させる工夫に知恵を絞って時間をかけて考えてほしい
3件	案内サービス等
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの乗り降り案内が少なく次に行く所はどのバスに乗ればいいのか, どこで乗るのが分からない
3件	美術館等の充実
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館や博物館の催しのアピール不足があるかと...
3件	静けさを大事に
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ静かな方が良い
3件	景観等
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・京都らしい景観を残してほしい
2件	低料金
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・拝観料の値下げ
2件	交流促進
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢層を問わず様々な人々が交流できる場所をつくること
2件	図書館の充実
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館など, みなさんが集まれるスペース

7件	その他
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的な装置が整った劇場，ホール ・簡単に宿泊できる施設が欲しい ・ライトアップ
13件	現状がよい
(意見例)	<ul style="list-style-type: none"> ・今でも充分魅力的です ・建てすぎるのはよくない ・特になし，色々そろっていてキレイなところ

芸術，文化系のイベント，飲食機能，歩くまちづくり，緑や自然環境の保全・活用などの取り組みに対するニーズが高い。